

記

① グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）の増資

- GHIT Fund は、NTDs・結核・マラリア等の感染症に対する医薬品等の研究開発の促進へ貢献している。 GHIT Fund では、WHO が定める 20 疾患すべてを開発支援対象としている。
- 例えば、住血吸虫症においては、これまで存在しなかった小児用製剤の開発が世界に先駆けて進んでおり、2023 年度の上市を目指している。 これにより、アフリカを中心とする 5,500 万人の未就学児童の健康改善につながることを期待されている。
- また、結核診断薬は、上市に向けて製造工程などを検討中であり、結核診断薬の基盤技術を転用した新型コロナウイルスの診断薬も開発されており、GHIT Fund の支援は、対象の疾病以外にも波及効果を生んでいる。
- GHIT Fund は、2023 年度から始まる 5 年間の第 3 期において、NTDs・結核・マラリアに加え、新型コロナを踏まえ世界的に一層の課題となっている新興再興感染症に対する研究開発にも日本の技術を活用すべく取り組む方針であるところ、こうした方針を高く評価し、グローバルヘルスにおける日本のリーダーシップを確保するためにも、GHIT Fund に対し、安定的な拠出（5 年間で約 2 億米ドルの拠出）を要望する。
- 来たる G7 広島サミットに向けて、この要望額を拠出表明いただきたい。

② NTDs に対する日本の貢献、プレゼンスの向上（国際機関や国際協力機構（JICA）を通じた支援の強化）

- NTDs 対策においては、国際機関や市民社会が重要な役割を果たしており、WHO、UNDP、UNICEF を含む国際機関等への任意拠出等や、市民社会を通じた支援を引き続き行っていただきたい。
- SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）等、JICA・AMED を通じた NTDs に関する共同研究・検査能力の強化は、日本の高い科学技術を活用した取り組みであり、引き続き推進していただきたい。
- また、日本の貢献、プレゼンスの向上のためにも、NTDs などの国際的な保健課題に対する教育、NTDs の認知・理解向上に向けた普及啓発等について、次世代を担う若者と連携しつつ、推進していただきたい。

③ アフリカ等における民間企業のネットワーク形成・支援の強化

- NTDs の適切な診断と治療のアクセス向上に資する民間企業等の取組を支援するため、アフリカ等の対象国の医療人材の育成等を強化するとともに、保健省とのネットワーク形成への支援等を引き続き行っていただきたい。

以上